

みんなで築く

よりよい環境

都留市美化推進協議会 総会開かれる

市民総参加で地域をきれいにし、快適な住みよい環境を築くため、都留市美化推進協議会総会が七月三十日(火)文化会館において盛大に開催されました。

議事に先立ち、積極的に地域の美化推進に取り組まれている、楽山自治会・四日市場瀬中常会、月見ヶ丘自治会・盛里久保老人クラブ・東桂中学校生徒会の五団体が表彰されました。

つづいて、実践活動事例発

表が、鈴木忠二氏(楽山自治会長)小佐野茂氏(田野倉自治会長)長谷雄二君(東桂中学校生徒会)の三名によって行われました。

▽年間事業計画として

①毎月第一日曜日「清掃の日」

●居住地周辺の清掃
●早起き市内一斉清掃の実施

②ゴミステーション周辺の清潔保持
燃えるゴミ、燃えないゴミ

ミの区別等ゴミの出し方についてきまりを守り、清潔を保ちましょう。

③河川清掃(定式)実施

④ゴミ持ち帰り運動の推進行事、催物等におけるゴミの持ち帰りを実行。

⑤61年かいじ国体花いっぱい運動。

⑥通学路及び学校周辺の清掃。各小中高生による清掃実践

⑦その他「5月30日ゴミゼロの日」「河川愛護運動」「道路を護る運動」などの事業が決議され、地域の美化に対する感心を高め

美化活動の実践がいかに努力を必要とするか、真剣に討論されました。



(鈴木忠二氏)

鈴木氏は、ゴミステーションへのゴミの出し方を学生・飲食店に指導、楽山公園での空き缶・ゴミの持ち帰り運動を展開、楽山地区民から清掃に対する標語を募集し、一人役をキヤッチフレーズに美化推進に役立てている旨を発表されました。



(小佐野茂氏)



(長谷雄二君)

現在では、生徒自身清掃への理解も高まり、とくに住民から感謝されることが、奉仕活動に対する励みとなっています。

長谷君が、地域の清掃を始めたのは、奉仕活動に対する関心を、ゴミの収集の実践によって高め、自然に対する関心をも深めることからでした。

生出神社から谷村の御旅所まで神輿の巡幸があり、十萬石格式の大名行列がこれにつき従ってなかなか豪華なものです。

写真の屋台は、早馬町のものでこのほか下町・仲町・新町にも各りっぱな屋台がありました。昭和のはじめまで、祭りの当日は、揃いのゆかた姿で老若男女が繰り出し四町の屋台の豪華さを互いに競いあったと言われています。この屋台には、江戸時代の

浮世絵の巨匠(葛飾北斎、藤原栄之、柳文朝ら)が描いたけんらん豪華な屋台飾幕を張りめぐらしてありました。

早馬町の屋台は、最も古いと伝えられており長さ四、八五m・幅四、〇五m・高さ四六五mの大きなものです。四十年以上前に解体、放置されていたこの屋台を、復元し江戸時代から続いた「ふるさと祭」をよみがえらせ次代に伝承しようと早馬町では、資金の積み立てをしています。

今月のふるさと

カレンダー

九月の写真説明

八朔まつり……かつては、塩山市雲峰寺の馬祭りとも都留市生出神社のお祭りが、甲斐の八朔祭の双壁であったといわれるほど、きらびやかに行われていたという。

八朔祭は、その年により「本祭」になったり「居祭」になったりしますが、本祭りは、

不用犬・猫

巡回収集日は

9月11日(水)です。